

勢和農村 RMO 通信

第2号

発行：勢和農村 RMO 協議会事務局 多気町丹生 1620-3

『農村 RMO』を知っていただく勉強会を開催しました！

開催レポート

当日は、協議会メンバーの方や各地区の区長さん、地域づくりに興味のある住民のみなさん、県職員など 30 名ほどが参加し、全国各地で地域づくりに携わっている青森県弘前大学教授の平井太郎先生を講師にお話をうかがいました。



夢を実現するために農村 RMO を！

まず初めに、これまで地域づくりを頑張ってきた方々が、やってきたことを次の世代にどのように受け渡していくのかについて多くの地域で課題となっている点に触れ、「みなさんでしっかり話し合っ、勢和地域をどうしていきたいのか絵＝夢を描いてほしい。その夢を実現するために農村 RMO を活用してほしい」と述べられ、私たち地域住民が主体となって、勢和地域の将来について話し合うことの重要性を強調されました。

参加者との質疑応答では、獣害対策の方法や若い世代が地域活動に関わってもらう方法について質問がありましたが、鹿が嫌うマリーゴールドを景観作物として植えた例やフリーマーケットを開いて若い世代や地域外の人々が来やすい形にした事例などを紹介いただきました。

またコミュニティナースとして丹生を中心に活動している女性参加者は、「地域づくりや世代間のつながりづくり、若い世代の支援に RMO をうまく活用できればと思う」と述べていました。

「課題思考」から「夢・理想思考」へ

平井先生は、「課題思考」から「夢・理想思考」に変えること、例えば「獣害に困っている」というより「サルに負けないむらづくり」と考える方が前向きに、かつ柔軟に取り組めるといいます。まずはみなさんの夢を出し合っ、それならこういうことができるのではないかと語り合うことから始める。そしてまた、若い人やよそ者、未経験者など、これまで関係が希薄だった人たちとも一緒に取組むことで活動の幅が広がり、より継続的な仕組みを創出することができるはずとお話いただきました。

勢和地域ではすでに様々な活動が行われてきましたが、勢和農村 RMO で夢を語り合い、人と人との繋がりづくりを進めていくことで、より魅力ある地域になる可能性を感じました。



数字で知る勢和の今

農村 RMO（農村型地域運営組織）とは、人口減少が顕著な「中山間地域」の農地保全と農業を主軸に住民、法人、自治会などが一体となって「地域経営」に取り組む組織ということで、今回対象となる勢和地域の現状について”数字”から紐解いてみたいと思います。

(2023 年 2 月末現在)



波多瀬	505 人
片野	795 人
朝柄	516 人
古江	249 人
色太	400 人
土屋	115 人
車川	128 人
上出江	247 人
下出江	494 人
丹生	898 人

勢和小学校 211 人
勢和中学校 125 人
合計 336 人

新年度の勢和小学校では 6 学年のうち 1 クラスの学年が 3 つ、2 クラスの学年が 3 つ。勢和中学校では 3 学年が 2 クラスずつ新学期を迎えるとのことで、いよいよ勢和地域での人口減少が進み始めていますと数字から見えてきました。

R4 年度は農村 RMO 元年！！

農林水産省のはじめての取り組みを全国 大小 29 カ所の地域でスタート。

農村 RMO に関する理解を深め、集落地域の未来をつくるヒントになることを目的にした農村 RMO 公式ホームページが農水省により新設され、全国の団体同士が繋がり、活動を強化するきっかけの創出など、全国の中山間地域が連携して取り組めるような仕組み作りも動き出しました。また研修会やオンライン勉強会も行われ、勢和農村 RMO 協議会事務局も参加。勢和地域にとってより有効な活動（事業）とは何か勉強してきた 1 年目です。

ぜひ一度のぞいてみてください！

<https://nouson-rmo.com/>



「地域福祉の在り方について」勉強会を実施

今回農村 RMO が手がける 3 つのテーマの中で、「生活支援」という、地域コミュニティの維持に資する取り組みを「農村 RMO」で大切にしている事が今回の事業の特徴と言えます。今の勢和地域で取り組むべき事業を検討するため、調査ももちろんですが全国や多気町の現状の把握、事例や可能性について勉強会や座談会を行いました。



勢和図書館の司書さんに
選書いただきました！



\\ 3 大勢和本 //

「勢和村の民俗」
伊勢民俗学会編

まずは 38 年前 (1985 年) に書かれたコノ読みやすい一冊から。
表紙はどこの写真かわかりますか？
＊勢和図書館にてご覧いただけます。

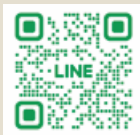
ネーミング大募集！！

勢和農村 RMO 通信（仮）のネーミングを大募集しています！勢和地域に暮らしている多くの方々にお楽しみいただける、この通信のネーミングをぜひご提案ください！！

FAX : 0598-49-4828
(ふるさと屋)

応募方法

QR コード :
右図からアクセス下さい。



Next Issue

次号のご案内

勢和農村 RMO1 年目の
取り組みについてご紹介

勢和コラム
勢和地域の歴史は
どこまで深い？

勢和クイズ

勢和本紹介ほか

＊内容は変更することがあります。ご了承ください。